

「第44回日本死の臨床研究会年次大会 オンデマンドプログラム再配信」 ご案内（要申込）

昨年11月に松山で開催された第44回日本死の臨床研究会年次大会、大会後のオンデマンド配信は1月末で終了し、高い評価をいただいております。年次大会でオンデマンド配信させていただいたプログラムをより多くの方に視聴していただくことを考え、改めて有料配信を行うことといたしました。

また、新たに「ありがた特別委員会主催 第2回パネルディスカッション」を同時に視聴できるようにしました。



配信方法：申込制による有料配信、You tube上でパスワードをかけた動画プログラムを視聴していただきます。

視聴期間：2024年5月1日～7月末日

視聴料金：日本死の臨床研究会会員は3,000円、非会員は4,000円

視聴方法：日本死の臨床研究会に申込み、申込みと視聴料の入金を確認でき次第、視聴申込者へURLとパスワードを送付します。

会員の方 → JARDマイページへログイン後
イベント情報からお申し込み下さい

<https://jard.shikuminet.jp/login/>



非会員の方 → こちらのGoogleフォーム
からお申し込みください

<https://forms.gle/UzGLpq3N9oK66akj7>



お問い合わせは当研究会HP（<https://www.jard-info.org>）より
日本死の臨床研究会事務局までお願いいたします

配信するプログラム

大会長講演

ホスピスアイランド四国からのメッセージ

演者：中橋恒（松山ベテル病院）

死の臨床と私 ～言葉をすくう 言葉ですくう～

演者：井上実穂（四国がんセンター）

主題メッセージ

『三途の川を渡りかけ』

演者：山折哲雄（総合研究大学院大学名誉教授）

総会報告会（会員集会）

特別講演『痛みに向き合おうとする心』

演者：三枝好幸（一社 日本死の臨床研究会代表理事/桜町病院聖ヨハネホスピス）

特別講演1

辞世の句ってかっこいい

演者：夏井いつき（株式会社 夏井&カンパニー）

特別講演3

死は人生の物語を躍動させる

演者：柳田邦男（ノンフィクション作家）

特別講演4

末期がんの息子を看取って、変わった思いと変わらない思い

演者：関本雅子（かえでホームケアクリニック）

教育講演1

自殺へのまなざしを共に考える

演者：尾角光美（一般社団法人 リヴオン）

教育講演2

地域包括ケアの担い手を育成するために～死を前にした人にあなたは何ができますか？～

演者：小澤竹俊（めぐみ在宅クリニック エンドオブライフ・ケア協会）

教育講演3（対談）

禅から学ぶ生死の智慧

演者：藤田一照（曹洞宗僧侶）

大坂巖（社会福祉法人石川記念会HITO病院 緩和ケア内科）

教育講演4

日本の看取り文化から何が学べるか

演者：カール・ベッカー（京都大学 政策のための科学ユニット）

特別企画2

『ホスピスのこころ』日本のホスピス50周年記念 特別講演

演者：柏木哲夫（日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団、
淀川キリスト教病院名誉ホスピス長、大阪大学名誉教授）

座長：前野宏（札幌南徳洲会病院）

共催/NPO 法人ホスピスのこころ研究所、日本ホスピス緩和ケア協会、ホスピス財団

ありかた特別委員会企画パネルディスカッション

死の臨床で大切にしてきたもの

演者：末永和之（すえなが内科在宅診療所）

高澤洋子（淀川キリスト教病院）

三枝好幸（一社 日本死の臨床研究会代表理事/桜町病院聖ヨハネホスピス）

国際交流広場1

“The Schubert Treatment”: the impact of live music on patients during pain-inducing treatments in palliative care

「シューベルト療法」：緩和ケアにおける患者の痛みやつらさに対するライブ演奏の影響

演者：Claire Oppert クレール・オペール（サン・ペリーヌ病院緩和ケア病棟（パリ）、
リーヴ・ド・セヌ緩和ケア病棟（プトー）、
ジーン・ガーニエ緩和ケア病棟（パリ、フランス））

国際交流広場2

A creative workshop: how music takes care of the carers

クリエイティブ・ワークショップ：音楽はどのようにケアに携わる人たちを癒すのか

演者：Claire Oppert クレール・オペール（サン・ペリーヌ病院緩和ケア病棟（パリ）、
リーヴ・ド・セヌ緩和ケア病棟（プトー）、
ジーン・ガーニエ緩和ケア病棟（パリ、フランス））

震災関連企画

東日本大震災から12年を経て

演者：渡邊真紀（株三陸新報社）

市民公開講座

ホスピス・緩和ケアフォーラム2023

トーク&コンサート「看取りから芸術へ」

演者：智内兄助（洋画家、大会ポスター原画作者）

智内威雄（左手のピアニスト）

企画委員会企画シンポジウム

真の援助者を目指して

演者：山田珠穂（特定医療法人萬生会 合志第一病院）

太田多佳子（松山ベテル病院 医療相談室・地域医療連携室）

ありかた特別委員会企画（配信新規企画）

『多職種のチームで担う死の臨床』

死の臨床に関わる職種の多様性～死の臨床とソーシャルワーカー～

演者：横山幸生（かとう内科並木通り診療所 医療SW）

緩和ケアにおけるリハビリの構造的変化

演者：安部能成（穂波の郷 リハビリ研究ディレクター）

死の臨床における音楽療法

演者：新倉晶子（日本赤十字医療センター 緩和ケア病棟）

介護福祉と死の臨床

演者：野島謙一郎（自助グループあかね/九州リハビリテーション学院介護福祉学）

死の臨床における宗教者の関わり・役割

演者：山本成樹（三菱京都病院 ビハーラ僧）

死の臨床と死生学

演者：藤井美和（関西学院大学大学院 人間福祉研究科）